

大正九年六月二十日 第三種郵便物認可
昭和八年三月二十日 行(毎月一回二十日發行)
農事月報

農事月報

第一五六號

昭和八年三月

埼玉縣立農事試驗場内

踏霜會
振替東京七六一八三番

目次

全國水稻主要品種分布状況と 本縣栽培品種の選定に就いて(下)	一
切花用花卉の栽培(三)	三
肥料小賣相場	四
蔬菜の半促成栽培	四
質問應答	六
石灰窒素の空袋の利用法	一〇
農事試驗場便	一
△昭和八年度農事試驗場 の新規並に擴張事業	一一
△第十四回主要農作物品種改良 協議會並に第六回農具査定會	一二
△本場	一三
△越ヶ谷園藝部	一四
△入間川園藝部	一四

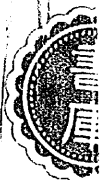
全國水稻主要品種の分 布状況と本縣栽培品種 の選定に就いて(下)

玉井種藝部

第三 栽培品種選擇上考慮すべき 事項

以上本邦の水稻主要品種に就て、其の概要を述べたが、全國的に見て優良品種であるとしても、さて之を一地方に限つて見た場合に之等の或るものを栽培して同様の良結果を得るかどうかといふ事は相當問題となる點である。九州地方或は東北地方で良いからと云つて漫然と其の種子を取寄せて栽培すると云ふ様な

事は最も慎まなければならぬ點である。品種の能力は栽培技術や肥料等に依つてのみ左右せられるものでなく、其の地方の氣候、風土の影響を受ける事が頗る大きいので、之は一面前述の様に本邦内地品種の數が數千を以て數へる程多種である事を物語るものである。本縣内にある品種數も千種以上に達する事は本縣が如何に米作に恵まれてゐるかを示すものと考へる事も出来るが、然し品種の多い事は従つて本縣の産米が如何に雜駁であるかも示すものとも云へる。品種の雜駁は惹いては産米聲價下落の一主要原因となり、此處に品種統一の必要がある理で、近來東北地方や朝鮮の産米が市場聲價が上つた事は一方之等のものが市場の嗜好に合つたものであると同時に他方に於いては一定のものが多量に纏つて取引せられることも大いに與つて居るのである。農事試驗場では品質、粒形收量等計りでなく市場關係等も考慮に入れて現在より以上の優良品種の育成に力を注いで居つ



220

[2]

て此の爲めに全国から各地方の優良品種を集めては色々試験調査をし、更に純系淘汰法又は人工交配に依つて品種の改善を計る等常に非常な努力を拂つて居る次第である。現在原種として奨励してゐる

品種は何れも新様にして長年の試験の結果始めて決定したもので、従而當業者が栽培品種を選択する場合には此の原種の中から努力分配關係と裏作關係等を考慮して早中晩の栽培割合を定められ多收を得ると同時に一方本縣産米の向上を計るの大切であると信するものである。(完)

附 水稻原種の特性と來歴の概要

品名	出期	成熟	育交	種数	種先	特色	多少	粒形	品質	反常	玄米	精米	備註
保村 一 號	8.12	10.03	2.30	12.5	6.6	赤褐	中長	中	中下	1.499	38.5	中	純系淘汰ニヨリ育成昭和六年原種
愛國 一 號	8.23	10.10	2.30	11.3	7.2	赤褐	中長	中	中下	2.455	39.4	中	同上
八 五 號	8.26	10.20	2.38	13.2	6.6	赤褐	中長	中	中上	2.492	39.6	中	同上
近江 五 號	8.29	10.24	3.82	15.5	7.1	赤褐	中	中	中上	2.500	38.8	中	同上
三 五 號	9.01	10.25	3.70	13.9	7.5	赤褐	中	中	中上	2.455	38.8	中	同上
關取 一 五 號	9.03	10.28	4.02	14.8	6.9	赤褐	中	中	中上	2.437	38.8	中	同上
銀坊 主 七 號	9.05	10.28	3.55	15.7	7.6	赤褐	中	中	中上	2.392	38.9	中	同上
不作 不知 七 號	9.09	11.02	3.73	14.3	6.5	赤褐	中	中	中上	2.515	39.3	中	同上
三次郎 七 號	8.13	10.02	3.28	12.5	6.9	赤褐	中	中	中上	2.594	39.1	中	同上
太郎兵衛 七 號	8.19	10.07	3.91	10.9	7.2	赤褐	中	中	中上	1.537	38.4	中	同上
太郎兵衛 七 號	8.19	10.07	3.91	10.9	7.2	赤褐	中	中	中上	2.047	37.6	中	同上
小針 七 號	8.21	10.20	3.52	16.6	6.6	赤褐	中	中	中上	2.353	38.1	中	同上

切花用花卉の栽培 (三)

越ヶ谷園藝部 技手 古川 駿 男

第二節 高級宿根もの(續々)

(五)宿根パンヤ アスケレピアス、チユベローザと稱せられ、夏千兩(ア。クラサビカ)の宿根性のもの。數年前より獨逸から輸入せられて切花市場で騒がれてゐる新種で目下は落付いた相場を示してゐる夏澄黄色の小花を簇開し、切花として水揚げ、花持よく一輪挿し、佛花、花束等に歡迎される。播種床は丁寧に作るか又は箱時とする。採時、秋時、又は春時によく一度假植の後床に定植、あとは株分け(十月)で繁殖する

畦幅一尺、株間五―六寸、相當密植してよいが粘土質の餘り乾く所は好まない冬は簡単な霜除けを與へる最近この紫花が現はれて注目せられて來た

[3]

(六)宿根スターチス リモリユーム。ラチホリア、インカーナ。シネンシス等のよい種類があり何れも出初めには

一本十錢等と云ふ價格で取引されたものであつたが、昨今は相當に栽培せられて相場も落付いて來た様である。永久花の一種で丈夫な宿根草。實生、株分で簡単に繁殖し、五月頃から秋頃まで咲き続ける花期の永い珍しい花型であるために花束花輪等に重用せられる。花型は假草に似て一層枝張り細かく枝も強い。乾燥成熟した花を、花のまゝ採集し、採時とし一回假植の後一尺二寸×一尺位に定植し冬はそのまゝ散らし藁等の簡單なる防霜を與へれば翌春より開花し、二年目に一度位宛秋の株分けをする。土質は稍粘質を好むらしいが何れの土質にもよく育ち、根が張れば冬の防霜は不要で、株を養成して株として販賣しても相當の需要がある。

(七)射干(ヒヨギ) ダルマ、エビと云ふ種類があるが、生花に喜ばれるのは黄花ダルマ射干である。生花用の高級品で年々需要が多いが、實生で繁殖しても親通りの腰の曲つたのが出來ないので

株は相場がよい。稍濕氣の多い砂氣交りの土地を好み畦幅一尺五寸の條植として一度植付けた後は三年位はそのまゝ据置とする。往々腐敗病が発生し傳染することがあるが、根本の土に石灰を與へ、切花とする時には深切りとせぬ様又餘り一ヶ所に永く据置とすることは宜しくない。

(八)りんどう 普通の山や森の下草に混つて咲く、りんどうも切花としてよいが御山りんどう。高嶺りんどうは珍花として甚だ高價に賣れてゐる。根株は福島群馬等の高山から採集したものを十月頃野方の土に植付け翌年七月頃切花とするもので、稍々陽をさける軟かい土質を好み淺植として相當密植する。芽のしつかりしたものを選べば花立ちもよく、草丈の出來たものを出荷すれば一本五錢―八錢と云ふ相場である。

(九)宿根釣鐘草 カムパニユラ、メデュームと稱し切花に需要の多い二年生種類もあるが、最近の新種として喜ば

一、曇天の場合は乾燥甚しき場合の外は行はざること。

(二) 通 風

一、床内の空気は内外気温の状況を考へ、時折り變換すると良い。

一、通風は午前十時頃より午後二時頃迄の間に適宜障子を開きて之を行ふも晴天無風の場合は正午より午後二時頃迄の間開放するも良い。

一、雨天と雖も気温及床温相當高くして作物の徒長する恐ある場合は換氣を行ふべきである。

七 防 寒

定植當初は一般に未だ寒冷なる故被覆を行ふも気温上昇するに隨つて減少し、五月上旬に到れば被覆の必要はない。

八 授 粉

開花する時期に到れば人工媒助を行ふ。其の方法は作物の種類により異なるも毛筆にて花粉を付けるか或は又雄花を取つて雌花に花粉を附着せしむる方法がある。

九 收 穫

茄子、胡瓜の一番は成る可く早目に收穫し草勢を弱めざる様注意する。(完)

質 問 應 答

△毎月未迄到着のもの翌月號に答ふ
△編輯の時次號廻しをすることあり
△質問の取捨は編輯係に御一任のこと
△宛は總て浦和町農事試験場内踏踏會

◇ 穀 菽

△問 米麥の縣獎勵品種を農事試験場より分譲を受ける手續 (秩父中葉生)

△答 原種配布申請書を場長宛提出のと。但し個人配布は採種圃用として配布して残余を生じた際に限るので採種圃生産種子を利用したのが早くて又安心であらう。又縣は其の方針でもある。(尾形)

△問 鶏糞を水稻肥料としたし施用の良法、施用上注意點 (南埼玉生)

△答 約一週間前施用するか人尿堆肥及土壤等混合腐敗分解せしむる必要あり (新澤)

△問 水稻肥料は加里、磷酸、窒素の順に施した方が宜しと云ふが窒素、磷酸、加里と何れが宜しきや又其の理由 (南埼玉生)

△答 水稻肥料は沖積層なれば窒素、加里、磷酸、洪積層は窒素、磷酸、加里なり其理由は施肥標準調査に依り各地土壤を分析、栽培、原地配合、試験せる、成績に依り決定せるものなり。(新澤)

△問 水稻反當石灰窒素十二貫施さんとする場合磷酸加里の量、但し壤土 (大里男、内田芳生)

△答 沖積層 強過磷酸五貫鹽化加里一貫五

洪積層 強過磷酸七貫五鹽化加里一貫右の外自給肥料二百貫又他種形態窒素質肥料も地力の肥瘠に依り相當配合すべきなり。(新澤)

△問 當場に水陸稻、大小麥に對する各種肥料三要素の吸收率につき印刷せるものありや (月報讀者)

△答 右吸收率のみの印刷物はなきも農

事月報昭和七年二月號及麥の經濟的施肥法等にある。水、陸稻の印刷物はなし (新澤)

△問 陸稻專用配合肥料の配合法 (入間毛呂齊藤勝一)

△答 大豆粕三貫、強過磷酸二貫五、硫酸二貫五、蠶蛹粕一貫、硫酸一貫、三成分窒素七・八%磷酸五・四%加里五・三%洪積層なれば強過磷酸三・五貫とし蠶蛹粕を削除す。(新澤)

△問 粟作にて出穂際に肥効現はるゝ様施肥せば收量多しと聞くが如何 (用土根岸)

△答 試験なく確答致兼ねるが出穂際に肥効現はれたのでは遅かるべし。従つて收量の増加は疑はれる。(松岡)

◇ 特 用 作 物

△問 トロの栽培法 (菅谷富岡)

△答 播種期、五月中旬。反當播種量、一升五合乃至二升、畦巾二尺株間三寸。反當肥料の一例、人糞尿一〇貫、過磷酸

石灰一五貫、草木灰三〇貫、發芽後二、三週間を経て全量追肥。手入、中耕、除草間引、摘心、摘花、收穫、十月下旬地上部黃變せる頃。(松岡)

◇ 蔬 菜

△問 茄ブラックビューターに大麥完全肥料を用ひんとす。一本當施用量並に畦幅、株間、其他栽培法 (WP)

△答 茄子栽培には反當大休、窒素七貫、磷酸五貫、加里六貫、位用ふるを要す、普通畦幅は三尺株間二尺反當一、八〇〇本植へとす、其他栽培法は埼玉縣立農事試験場内踏踏會發行園藝指針一部前金五十五錢(郵稅共)を参照せられたし。(小川)

△問 褒瓜と銀甜瓜と五間位離して栽培して互に交雜するや否や (WP)

△答 自然交配すべし。(小川)
△問 西瓜とトマトの貯藏法 (菅谷富岡)
△答 西瓜、完熟せざるものを收穫し冷涼、濕氣少なき納屋等に並列し時々表面

の塵埃をふきとるが良い。トマト、夏期のトマトは貯藏困難であるが秋期のものは藁灰中に貯藏すると良い。(小川)

△問 春播蒔草の抽莖の防止法 (入間吉野生)

△答 肥沃の土地に充分窒素質肥料を施し栽培するの外良法無し。(小川)

△問 大玉種蒔種子用に少量分譲願ひ度し (北埼玉田連見生)

△答 来る六月末頃配布すべし、其の節は文書を以て御請求ありたい。(小川)

△問 畑ワサビは有望なりや、苗の販賣者及び栽培法 (南埼玉ASA生)

△答 有望と認むるほどのものでない、適地は冬期暖く夏期は成るべく涼しき場所土質は粘壤土を佳とする、種株其他は入間郡入間川町、竹内牛松氏に直接御照會せられたい。(小川)

△問 牛蒡及胡蘿蔔を移植採種せんとす施肥量、施肥期、害虫防除法 (入間粕谷生)

△答 反當堆肥二〇〇貫、大豆粕五貫、人

糞尿一二〇貫、強過磷酸石灰五貫、葉灰一

〇貫位、施肥期は植付期及び三月中旬頃、病害虫駆除豫防としては砒酸銨及石灰ボルドー液を撒布すべし。(小川)

△問 里芋(土垂)の當場十ヶ年平均収量(入間柳瀬日出男)

△答 年遺憾十ヶ年平均収量調査なし。(小川)

△問 里芋の最早生優良種名、販賣者及び産地名(北葛飾島田)

△答 石川早生芋、將來當場にて増殖配布すべきも早急なれば兵庫縣武庫郡御影町、前田直次郎氏(照會せられたし。)(小川)

△問 早出牛蒡(九月播)として中の宮と齊田とでは何れが適するや。(WP)

△答 確たる試験成績なきも中の宮佳なるべし。(小川)

△問 盆(八月)頃相當收穫を見る小芋用早生里芋品種名(WP)

△答 石川早生芋、早生、土垂芋、親賢芋等佳ならん、栽培に注意せば相當早く

收穫せらる。(小川)

△問 里芋は少々乾燥な島畑(砂壤土)に最適なるや(WP)

△答 乾燥に失せざる土地なれば何れにも適す、然れ共壤土に於いて最も良品を産す。(小川)

△問 甘藷の獎勵品種の種名又は苗の分譲はせらるや(秩父、中熊生)

△答 種名は郡市農會へを經由して町村農會又は農事組合へ配布する。苗は余分があれば學校其他個人へも配布する。(小川)

△問 急に深耕せる畑に馬鈴薯を作らんとす。肥料及び特別な注意

△答 堆肥又は厩肥を基肥として多用するがよい。(入子)

△問 甘藷肥料に礦物質肥料と動物物質肥料と施したる場合、品質、收量、貯藏力に大差なきや(北足立一農生)

△答 收量に於ては大差なきも品質及貯藏力は礦物質肥料が劣る。(入子)

△問 大和薯貯藏法及降霜ある頃迄畑に置くことの可否(福田松本)

△答 比較的寒氣に對する抵抗力強く貯藏容易である。地下水低き乾燥の地を選び幅三尺深さ二尺位の溝を掘り之れに並列覆土し順次貯藏して表面には寒氣を増すに随ひ盛土するのである。尚夏期に至れば穴害に貯藏する。冬期遅く迄畑に其儘置くとときは土質により寒害を被むる。(小川)

◇溫室溫床

△問 苗の溫床の育苗法、直播法、冷床育苗法の各長所と短所(用土根岸)

△答 溫床育苗法によれば收穫期を早め收量多く冷床育苗法及び直播法は收穫期遅く收量少ないが秋末遅くまで收穫し得らる。(小川)

◇土壤肥料

△問 試験場の洪試上は何れも沖積土なりや(南埼玉生)

しと聞くが事實なりや(小鹿野大久保生)

△答 兩者共充分腐熟せるものなれば肥効に甲乙なし。(新澤)

△問 人工速成堆肥は落葉でも出来るか

△答 落葉のみにての堆積試験成績はなきも糞尿と交互に堆積する時は結果は良好なるべし(新澤)

△問 紫雲英、ザイトウキツケン、ルービン、セラデラの種子中無償配布出来るものありや(秩父横瀬生)

△答 三年程前迄はザイトウキツケンは少量配布せるも目下中止中なり個人にて見本栽培位なれば配布する事もあり。

△問 乾燥鶏糞の三要素量(南埼玉生)

△答 窒素二・五七% 磷酸三・四〇% 加里一・一六%。(新澤)

△問 洋灰加里の肥料的價値の詳細

△答 セメント製造の副産物にして成分

△答 成績發表の其都度土壤の地質土性は記載してゐる。(新澤)

△問 濕田乾燥不良爲め溝を上げ置くときは肥料の價値損耗するや(福田松本)

△答 冬期間なれば差支なし。(新澤)

△問 粘土の改良石灰を施すを可とすと云ふ其の用量(北足立宇原生)

△答 土壤中の有機物の分解を速かにし土壤粒子を集團せしめ水及空氣の透過を良くす反當肥料用石灰五十貫前後

(新澤)

△問 肥料三要素の算出法(大瀧、黒澤)

△答 成分百分率の算出法は左記例に依り承知され度し

百分率		各十貫中
堆肥	窒素 〇・五	の成分量 五〇分
大豆粕	窒素 六・五	六五〇
硫安	窒素二〇・〇	二〇〇〇
硫酸加里	加里四八・〇	四・八〇〇
		(新澤)
△問 窒素、磷酸、加里質肥料中最も安		價な肥料(菅谷富岡)

△答 窒素 石灰窒素(硫安)

磷酸 過磷酸石灰

加里 鹽化加里(新澤)

△問 絶對的自給肥料のみにて作物はよく生育するや、化學肥料は反當何程施しても土壤惡變せざるや(入間吉野生)

△答 絶對的自給肥料のみにては完全なる作物の生育は期し難く適當なる金肥は調合すべきである。化學肥料は作物の通常なる生育をなす程度に施用し又一面自給肥料の相當多量を用せば永年土壤は惡變せず經濟を度外視せる化學肥料施用に對しては答へ難し。(新澤)

△問 上尾試験地にて昨秋麥稻葉にて石灰窒素加用堆肥を製造せしと云ふが其の成分(小鹿野大久保生)

△答 分析せず。(新澤)

△問 堆肥に硫安を加用せば夫れ丈窒素が増加するか(小鹿野大久保生)

△答 漏汁甚しからざれば増加す。

△問 石灰窒素堆肥は硫安堆肥より効果少

(新澤)

が區々である加里全量が七一〇%其の中水溶性加里が三一五%を占め副成分として生石灰三五%を含有し寧ろ加里兼石灰肥料と考へた方が適當の位である、加里の肥効に關しては目下試験中で今迄の成績では硫酸加里の加里を一〇〇とせば水稻では九〇大麥では八〇の肥効を示して居る尙生石灰の効果も別に考へ市價を比較し購入施用すべし。(新澤)

△問 硫酸加里と鹽化加里とは何れが安價か (菅谷富岡)

△答 鹽化加里安價なり。(新澤)

△問 鹽化マンガンは米、麥、大豆等に卓効ありと云ふが事實なりや、其の用量施用期、價格、販賣所 (北埼玉見生)

△答 作物生育の刺激作用はあるも實用の價値少きものなり。(新澤)

◇病 虫 害

△問 蟻の藥劑による驅除法 (南埼玉田生)

△答 (一)水一升に青酸加里四匁を溶解

したるものを蟻巢に注入す、(二)二硫化炭素(火氣注意)に倍量の水を加へ振盪しつつ蟻巢に注入するもよし、以上は何れも人畜に有毒なるを以て取扱に特に注意を要す。尙販賣品に「蟻よけ」「蟻滅」等ありて何れも人畜に無害なるものなり。(永島)

△問 烟草の纖維屑は烟の蚯蚓の驅除に効ありと聞くが如何、其の方法並に購入先、價格 (秋友廣瀬生)

△答 煙草粉末による蚯蚓驅除は大した効果は認められない。高崎專賣局のものは高崎市鶴見町渡邊三之助氏が本年三月迄は指定販賣人になつて居るから直接本人に照會ありたし、大抵の價格は六貫匁入二圓四十錢位なるべし。(永島)

◇雜

△問 帝國農會轉運所の所在地と出荷物幹旋法 (南埼玉農生)

△答 東京市神田區山本町神田青果市場内にあり。青果物にては賣上價格の千分

の五を手數料とし市場並びに生産者との間の販賣の幹旋を行ふ所にして詳細規約に就ては同所宛御照會相成り度し。(古川)

石灰窒素の空袋の利用法 (轉載)

石灰窒素は從來の製品は罐入であつたが種々研究の結果昨年から紙袋入に包裝が替へられ、たが成績が良好のことである。石灰窒素施用後の空袋は從來の空罐と異なり、利用の途が多い。

先般昭和肥料會社主催で此の空袋の利用法に就き多數の回答を蒐集し東京全購聯にて官廳、大學、全購聯、石灰窒素共販賣組合等參集のものに批判會を行つた。其の利用法の主なものは次の如くである云ふ時節柄面白き思ふから摘記する。尙セメント、肥料用石灰の空袋も亦同様に利用し得ると思ふ(係)

- 一、促成栽培の雨覆
- 一、ウリバイの防虫袋
- 一、稈の下敷
- 一、疊の下敷
- 一、疊の上敷代用
- 一、濾紙

一、種子の貯藏用袋

穀物の種子を入れて貯藏すれば防濕の効果がある許りでなく虫害をも防ぐ

一、農産物、穀物等の貯藏用

一、鼠や虫類の被害を防ぐ

一、鶏舎、豚舎、牛舎等の屋根の代用

空袋を開いて延ばしコーラルを塗り屋根に使用して相當耐久力がある。

一、屋根の下敷

スレート、瓦、トタン屋根等の下葺なるツイルトや檜皮等の代用とする。

一、柿出荷の際の箱の中包裝

一、小包用包紙

一、草木灰の容れ物

一、壁紙

一、案山子に利用

一、肥料運搬用

粉末状の肥料を少量宛運搬するに便

一、養蠶上簇後の尿受

一、蠶座紙

空袋を用いて延ばし蠶座紙に使用すれば紙質強靱なる故永年使用することが出来る

一、果實の害蟲の豫防

袋を送つて果實の袋掛に用ひて効果ある。

一、温床及冷床の圍

空袋を擴げて温床や冷床の圍を作り蓋又は藁で作つた圍の代用とすれば光熱の受けも良好で黒色に染色せば一層良い。

昭和六年度埼玉縣立農事試驗場業務功程

本縣立農事試驗場本分場全部に於ける昭和六年度の試験成績其の他の事項を登載せるものに附録百七十八頁。七十部を限り代金先着順に實費頒布す。

一、價格實費 金六拾錢(送料本會負擔)

一 申込所

浦和町縣立農事試驗場内

踏 霜 會

振替東京七六一八三番

一、疊の邊の心

一、炬燵の縁に使用

空袋を裁斷し三四重に張合せ漆を塗り蓋紙を作り炬燵の縁に使用すると疊の破れを防ぐ事が出来る。

一、防水紙の代用

一、セメント配合砂礫を詰込み其の袋形の人造石を造つて道路橋梁護岸工事等に使用すれば効果がある。

農事試驗場便

◇昭和八年度農事試驗場の新規竝に擴張事業

明八年度の當場新規事業の大體は次の如くである。

記

一、農事試驗場本場の移轉

農事試驗場本場の移轉は昭和六年度から同八年度に到る三ヶ年間繼續事業として目下進捗中であるが昭和八年五月末迄に一部建物の竣工次第本場業務の全部を移轉地北足立郡上尾町に移轉する計劃である。

二、蔬菜原種育成配布事業擴張

從來當場にては重要蔬菜の品種改良に關する試験を行ひ、既に白菜は大量の種子を育成して有償配布を行ひ、生産品の改善に努力中にて、其の他胡瓜、大根、甘藍、葱、茄子、西瓜等に就きては極めて少量を試作的に配布

◇越ヶ谷園藝部

◇蔬菜 露地用胡瓜、茄子、南瓜、冬瓜の育苗、三つ葉は第二回の収穫終り第三回目のもので六七寸に伸長し四月上旬には収穫、若荷の軟化促成も三寸位に伸長し第一回の日入れ石垣栽培は日下成熟期。水田裏作の全部作付け終り生育良好露地蔬菜としては甘藍、花椰菜の定植、枝豆早生種の播種、茄子、胡瓜、西瓜、甜瓜、甜瓜の軟作り、葱の假植も漸次初まる。葉付葱頭、二年子大根、鍋戸大根、葱頭等生育良好

◇温室温床 温室内木本花卉の促成り果終りシネラリヤ、百合、アマリ、スは開花最中、夏菊は六―七寸に伸び、泡盛草も開花し始めた温室内山椒の促成は三月上旬より収穫を初め爾後三日毎位に収穫、相場は一箱貳拾錢位、促成菜豆の収穫期も近く、促成胡瓜の定植は終り、半促成の胡瓜、茄子、蕃茄苗の育成に忙しく促成苺の収穫も殆んど終り、半促成アネモネは其の後益々調子より開花し、市場の相場も良い。

◇講習講話 二月十三日より十八日迄講農家

養成講習會には、雪、風に驚まされつゝも、聴講生八十五名、内四十六名に證書授與して盛會裡に終つた。

◇入間川園藝部

◇實地指導會 既報せる當部の實地指導會は二月廿三日、四日の兩日開催したるに參會者頗る多く、縣内は勿論東京府下等より熱心な農家が兩日を過ぎて五百餘名集り頗る盛會裡に終つた。

◇畑地 甘藍の定植、馬鈴薯の植付完了
◇苗木 茄子の假植、胡瓜、蕃茄、南瓜の播種を終り、甘藍の伏込も終つた。
◇温室 小手籠の切出しを終了した。蕃茄は二尺五寸以上に伸長し、鐵砲百合も一尺五寸内外に伸長し生育良好である。
◇温床 第二回の各種熱源比較試験を行ふため胡瓜、茄子、蕃茄の定植を行つた。メロン西瓜の播種を三月上旬行つた。

定價

一部金銀錢 郵税金五厘
一ヶ年郵税共前金四拾錢

埼玉縣浦和町縣立農事試驗場内
(電話浦和二〇九番)

發賣所

踏霜會

振替東京六、八番

昭和八年三月十五日印刷

昭和八年三月二十日發行

編輯發行人 松本芳道

埼玉縣浦和町三八四五

印刷所 清水印刷所

埼玉縣立農事試驗場内

發行所 踏霜會

埼玉縣立農事試驗場編

關 技師 柿崎技師 坂井技師 坂口技師 小川技師
長谷川技師 永島技師 小此木技師 古川技師 大橋技師

共同執筆

好評

第十五版

園藝指針

ポケット三五判美本
總六號組二百四十頁
價一冊に付五拾五錢
十冊以上一冊五拾錢
(郵送料本會負擔ス)

園藝の粹 完全せる實用寶典

第一編 蔬 菜

第一露地栽培、第二温室促成栽培、第三温床促成栽培、第四促成軟化栽培、第五準促成栽培、第六東京への蔬菜供給狀況、第七蔬菜栽培先進地

第二編 果 樹

第一各論、第二果樹栽培先進地

第三編 花 卉

第一露地栽培、第二温室促成栽培、第三準促成栽培、第四東京に於ける生花市場、第五花卉栽培先進地

第四編 參考事項

第一殺菌殺虫劑の調製使用法、第二優良噴霧器の種類及び販賣所、第三肥料施用上の注意、第四肥料成分表其他、第五畦幅株對間反當株數表

發賣所

浦和町埼玉縣立農事試驗場内
振替東京七六一八三番

踏霜會